

主な内容 ページ

ホタル特集 2 ~ 4

今年も水田や川のほとりで、ホタルの光の舞いを見ることができました。ホタル保護啓発ポスター入選作品やホタル調査の結果を掲載。

明るい社会を目指して 5

家庭や地域で今思うことを、子どもたちが意見発表。その一部を紹介。

トレーニング室の利用を 10

特集の最終回は講習会の様子を紹介。“おなかの回り”マイナス5センチの目標を立てて、トレーニング室で体を動かしてください。

あぐいぶらり旅 12

民家を訪ね、「峠地蔵尊」について聞く。地蔵には不思議ないわれが...

# 広報



阿久比町  
マスコットキャラクター  
**アグビー**

a public relations magazine  
**AGUI**

2009年

8 月

1 日号

毎月1日・15日発行



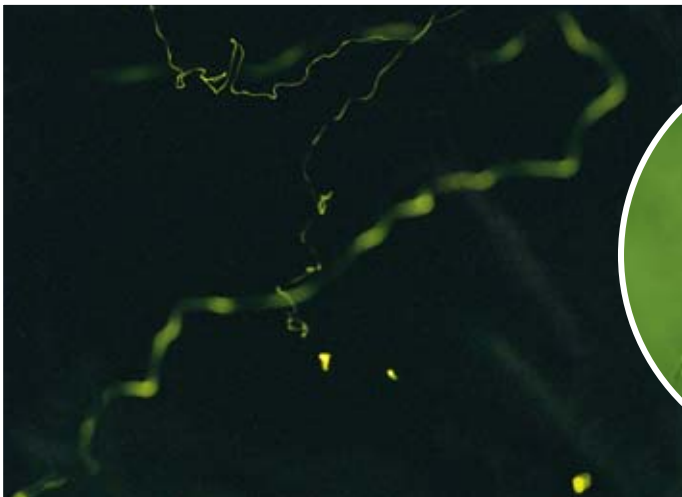
## “ハッチョウトンボが見えました”

普段は公開していない板山高根湿地を特別に公開(7月7日と16日)し、「自然観察会」が開かれました。参加者は公募した39人。湿地には知多半島でも貴重な自然環境が残っています。体長約2センチで日本最小のハッチョウトンボや食虫植物などが観察できました。

ホタル特集

# やっぱり夏の夜はホタル

初夏の訪れを感じさせるホタルの光の舞いを、今年も町内の水田や川のほとりで見る事ができました。



ふれあいの森体育室に展示された「ほたるポスター」 ほたる観察会

夏は、夜。月のころはさらなり、闇もなほ、蛍の多く飛び違ひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くも、をかし。……

(清少納言『枕草子』)

夏の闇夜はホタルが多く飛びかうのがいい。一つ二つわずかに光って飛ぶホタルも趣がある。ホタルは古くから人々の生活になじみその淡い光で、人々の「心」を癒してきました。しかし、時代が進み、私たちの生活が豊かになるにつれ、ホタルが飛びかう姿を見る場所が減少していききました。

ホタルが生息するにはきれいな水環境が不可欠です。美しい自然にか生息できないホタルは「環境のバロメーター」です。阿久比町では昭和五十八年から「ホタル飛びかう住みよい環境づくり」を目指し、町内に生息しているヘイケボタルの発生状況や生態などの調査研究を行っています。

今年にはホタル保護啓発の新たな取り組みとして、町民こそってホタルを見に行く期間「ホタルと一緒に自

然を守らナイト(六月二十日～七月十日)を設けました。ホタルを通して、家族で命や自然の大切さを見つめ直す機会にさせていただけたでしょうか。

六月二十六日と二十七日の二日間、ふれあいの森ホタル養殖場で開いた「ほたる観察会」には約二千四百人、六月二十四日に東部小学校で行われた「ホタル鑑賞会」には約七百人の来場者がありました。観察会で「ホタルを見たことがないので見に来ました」という声を聞きました。ホタルの幻想的な淡い光は、多くの皆さんに感動を与えました。

ホタルの光を絶やさないためにも普段からの行動が必要です。ゴミを捨つ、ゴミのポイ捨てをしない、川を汚さないなど……。小さなことですが、続けて行けば地球環境を守ることに繋がります。

二〇一〇年には、生物多様性条約第十回締約国会議(COP10)が名古屋市中で開催されます。会議では、地球上の多様な生き物を守るための方法などが話し合われます。阿久比町が取り組んでいる活動を、機会あるごとに紹介していきたいと考えています。

『枕草子』の一説にもあるように、夏の夜には欠かすことのできない「ホタル」。まち全体で保護活動に取り組む、自然と人間の共存のシンボルである「ホタル」をこれからも見守り続けていきます。



# ポスターに ホタル保護の気持ちを表現

## 平成21年度「ほたるポスター」入選作品

(応募総数694点の中から、下記の皆さんが選ばれました。)

敬称略

### 優秀作品10点



よこた  
横田あかり (東部小4年)



とうとう ふうこ  
東藤 楓子 (東部小4年)



はやし りょういち そう  
林 涼一郎 (草木小5年)



せき なが え  
関 永衣 (英比小6年)

### 最優秀作品



いえだ あやの  
家田 文乃 (南部小5年)



たけもと  
竹本ひかり (英比小6年)



やまうち よしひろ  
山内 慶洋 (南部小6年)



あきかぜ ゆう き  
秋風 夕貴 (南部小5年)



みやじ りな  
宮地 りな (草木小6年)

### 佳作10点

- |                            |                              |
|----------------------------|------------------------------|
| あおき こうせい<br>青木 光生(東部小学校5年) | やまもと あやか<br>山本 彩花(東部小学校6年)   |
| ただな なな<br>竹田 菜々(英比小学校4年)   | いづつか たくま<br>飯塚 拓真(英比小学校5年)   |
| みやじ れみ<br>宮地 れみ(草木小学校4年)   | なるたに さくら<br>柗谷 咲良(草木小学校5年)   |
| きむら りあ<br>木村 莉緒(南部小学校4年)   | かしらう ともあき<br>櫻内 友昭(南部小学校6年)  |
| しんがい しの<br>新海 志野(阿久比中学校1年) | ばんの きょういち<br>坂野 喬一(阿久比中学校3年) |



もりかわ はるか  
森川 陽加 (阿久比中3年)



いえだ えり  
家田 江梨 (阿久比中2年)



# ホタル特集

幼虫のエサ（巻貝）の情報を  
提供してください

今年もふれあいの森のホタル  
養殖場と東部小学校のホタルと  
出会う部屋では、たくさんのお  
虫が産まれました。  
東部小の児童やホタルボラン  
ティアの協力で幼虫のエサとな  
る巻貝を探っていますが、エサ  
がなかなか確保できません。  
田んぼや水路などで小さな巻  
貝（ヒメモノアラガイ など）  
やタニシがたくさんいる場所を見  
つけたら、ぜひ教えてください。  
黒っぽい殻高一センチほどの巻貝  
連絡先 企画財政課  
☎(48)1111(内303)  
東部小学校☎(48)0041

## 平成21年度 阿久比町ホタル分布図



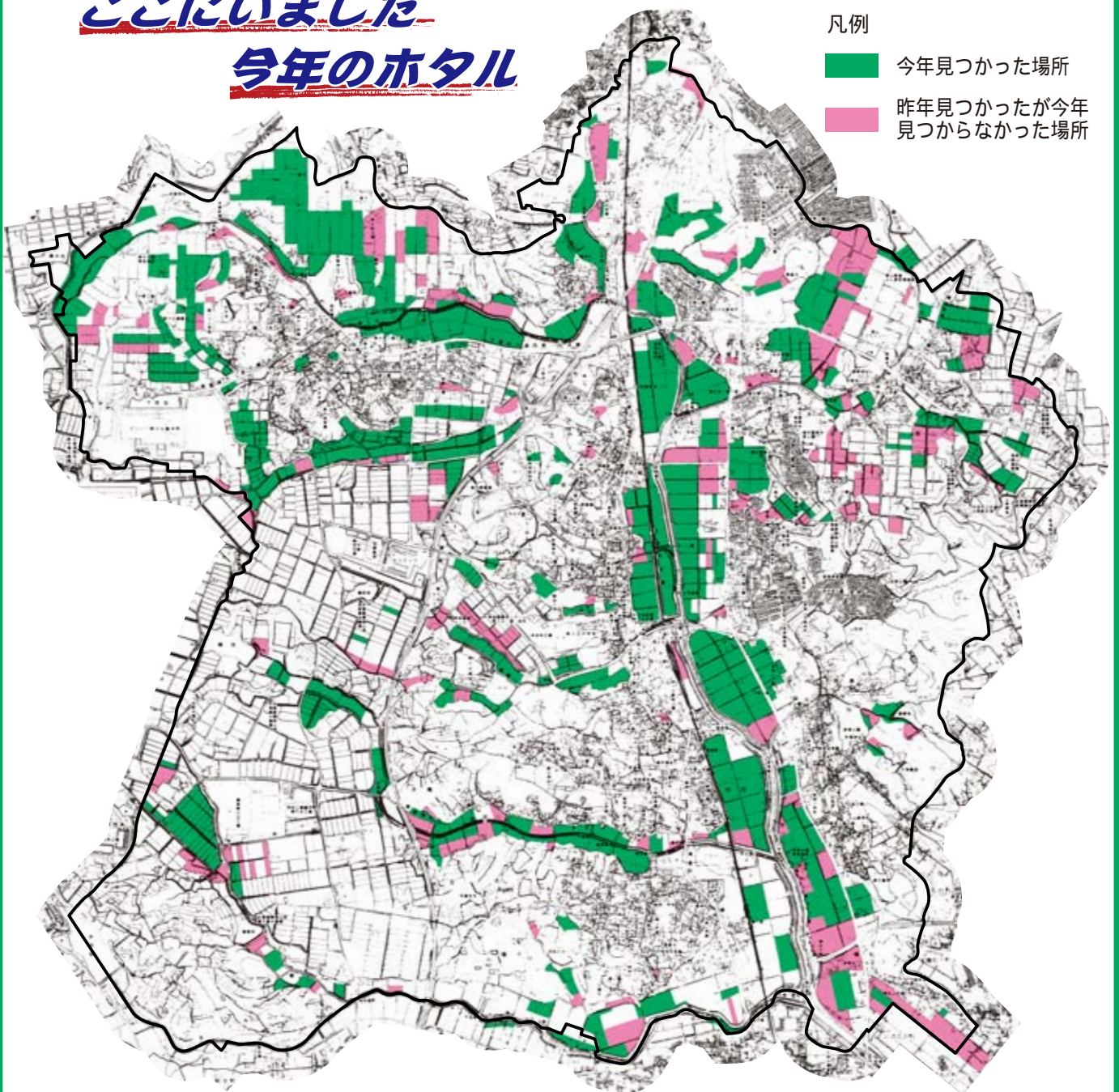
アグビー

六月二十四日から二十六日まで  
と七月一日から三日までの六日間、  
小・中学校の児童、生徒と町民の  
皆さんの協力で、生息分布調査を  
実施しました。調査の結果は、下  
図のとおりです。

### ここにいました 今年のホタル

凡例

- 今年見つけた場所
- 昨年見つけたが今年見つけなかった場所







意見発表を行う児童

# 犯罪や非行のない 明るく住みよい町に

阿久比町社会を明るくする運動・青少年健全育成推進の両大会が七月五日、エスベランス丸山で開かれました。児童・生徒の意見発表や第五十九回社会を明るくする運動広報ビデオ「心の家路」が上映され、参加者全員で犯罪や非行のない明るく住みよい町づくりを目指す機運を高めました。

## 大会宣言

「犯罪や非行のない明るい住みよい町」これは、私たちの切実な願いであります。

社会を明るくする運動を展開し、青少年の健全な育成をはかるにあたり、私たちは、一体となり決意を新たにして、阿久比町から犯罪や非行をなくすため、次のことを誓います。

- 笑顔であいさつし、明るい家庭をつくろう。
- 親と子が何でも話せる楽しい家庭をつくろう。
- 明るい町、良い家庭、良い友達をつくろう。
- みんなで手をつなぎ、非行のない社会をつくろう。
- 愛の心、愛の手で愛の芽を育てよう。

以上宣言する

小学生から高校生まで6人の児童・生徒が「家庭や地域で今思うこと」をテーマに発表した意見の一部を紹介します。

「人の役に立てるように」 英比小学校6年 伊藤くるみ  
私は、4年生のころからたくさんのボランティアをしてきました。心に残ったボランティアはデイスサービスです。たくさんのお年寄りとおしゃべりをしたり、はり絵をしたりしました。ボランティアには、たくさんの笑顔があふれています。私はお年寄りから喜びをもらいました。お年寄りが楽しいと言ってくれることで幸せな気持ちになったのです。

私は、ボランティアをしたことで、たくさんの人に支えられていること、「ありがとう」ということの大切さがわかりました。これからはもっとパワーを出してボランティアを続けたいと思います。

「心の優しい町に」 南部小学校6年 山内あす香  
最近のニュースの中で携帯電話を使ったいじめやインターネットを使ったサイバー犯罪という言葉を知りました。ネットや携帯電話は便利な機器ですが、便利の裏側には思ってもみないような危険が隠れていることにも気づきました。私自身はまだ携帯電話は必要でないと思います。何でもメールで済ませてしまうのではなく、きちんと相手の顔を見て自分の気持ちを伝えたいと思います。

相手の気持ちを考えないサイバー犯罪を起こしたりメールで人の気持ちを傷つけたりすることのない阿久比の町にしていきたいと思います。

「相手を知ること」 阿久比中学校3年 竹内美帆  
私たちの生活においても「うざい」「消える」そんな言葉を平気で発し、相手の気持ちを簡単に無視したり、陰でゴソゴソ悪口を言ったりすることがあります。私たちは、相手の悪いところしか見ないとときえあります。相手のことを知ろうとしない、人の一部だけを見て、人の価値を決めてしまうのです。

これからは、言葉を発する前に、相手のことを深く知っているかも一度考えてみようと思います。

「『粹』な社会をめざして」 阿久比中学校3年 中井 諭  
江戸時代には狭い道をぶつかることなくすれ違うための「肩引き」や「傘かしげ」、渡し舟で後から来た人が座れるようにこぶし一個分席を詰める「こぶし腰浮かせ」など、「江戸しぐさ」と呼ばれるマナーがあったそうです。これらを素早く行うことのできる人を「粹」な人、できない人を「無粹」な人だと言われていました。

マナーとは、一人ひとりが場面に応じて、周囲の人に優しく思いやりをもって行う「心遣い」ではないかと思います。「粹」な行動が格好良いと思われる社会にすることが大切だと思います。

「英語が教えてくれたこと」 阿久比高等学校2年 坂本知里  
私は英語の授業で大切なことを学びました。「自分の考えを伝えることがいかに重要か」ということです。自分の意見が否定されることと、自分が否定されることとは違うことだと、私は気づきました。

今、生徒会では阿高祭に向けて準備をしています。自分が何事にも全力で取り組み、どんどん必要なことを覚えて戸惑うことを減らし、自分の考えを伝えられるようになる必要があります。英語の発想は私を大きく変えてくれました。

「私の高校生活」 阿久比高等学校2年 竹内美由希  
私の高校生活は多忙です。1年生の水泳訓練では、プールの水を飲みながら一生懸命練習し、本番では無事泳ぎることができました。部活動では、テニス部の副キャプテンとして、仲間と一緒に楽しく、時には厳しい練習をし、部を盛りあげています。

このような高校生活が送れるのも毎日弁当を作ってくれる両親、笑顔で接してくれる友人、私たちを見守ってくださる先生方がいるからだと思います。私たちを支えてくれる人たちに感謝の気持ちを伝えるためにも、高校生活が精一杯充実するよう頑張っていこうと思います。

# オアシススケッチ

# ～まちの話題～



## 図書館で「おたのしみかい」

7月18日、町立図書館で毎年恒例の「おたのしみかい」が開かれました。

図書館でボランティア活動を行っている読書指導グループぶんぶんが、人形劇の上演や大型絵本の読み聞かせなどをして、会場に集まった多くの親子を楽しませていました。



## 園児が流しそうめんを楽しむ

7月7日、ほくぶ幼稚園児が「流しそうめん」を体験しました。

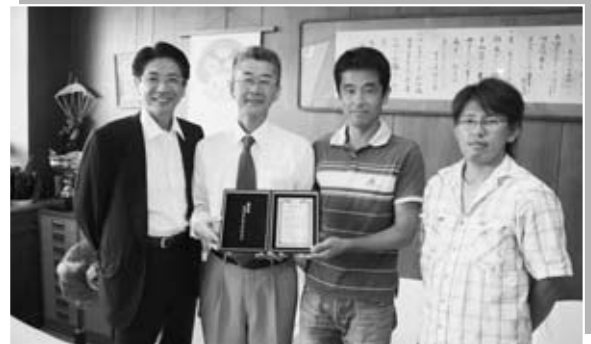
園児たちは半分に割った竹の中を水と一緒に流れてくるそうめんをはしですくい、手作りの汁わんの中に入ったつゆを付けて食べました。子どもたちは夏の暑さを忘れるほど元気よく、口いっぱいしそうめんをほうばっていました。



## 将来の夢は国際弁護士

阿久比ライオンズクラブの交換留学生として、マケドニアから阿久比町に滞在（7月16日～7月29日）したステファン・ツベタノブ君（18歳・高校生）が7月17日、町長を表敬訪問しました。

ツベタノブ君は「マケドニアの夏も暑いけど、湿気が高いのにびっくりしました。父が武士道を好きな影響で、小さなころから日本に興味があります。法律を学んで国際弁護士になるのが夢です」と話していました。



## 町商工会英比支部が奨励賞受賞

毎年「納涼祭り」を開催して、地域の商店街活性化を図っている阿久比町商工会英比支部が、全国信用金庫協会主催の「商店街ルネッサンス・コンテストわかば部門」で奨励賞に輝きました。

7月13日受賞報告と「納涼祭り」のPRを兼ねて商工会英比支部の皆さんが町長室を訪れました。

「今年も8月5日の夜、大阪屋葬祭駐車場で盛大に開催します。皆さん遊びにきてください」と祭りの参加を呼び掛けていました。



## 総合計画策定のために意見を聴く

町内の10会場で、第5次阿久比町総合計画（2011～2020年度）策定に向けた「まちづくり懇談会」を行いました。

参加者は264人。各会場でまちづくりに対する幅広い提言をいただきました。皆さんの声をできるだけ反映させながら、総合計画づくりを進めていきます。

あなたは写っていませんか。もし写っていれば、写真をおわけしますので連絡ください。



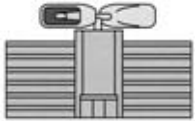
## 私たちは本が大好き

山本友秋さん（板山）は、平成4年から毎年英比小学校へ本の寄贈を続けています。学校の図書館では「山本友秋さん文庫」コーナーを設け、子どもたちに読書を薦めています。

英比小学校開校100周年にあたる今年、児童たちが山本さんへ感謝の気持ちを表したいと、7月17日「感謝をする会」を開きました。児童の代表が「私たちは本が大好きです。本が届くのが楽しみです。毎年ありがとう」とお礼の言葉を述べると、山本さんは「これからも本を贈ります。たくさん読んでください」と返していました。

企画財政課 ☎(48)1111(内303)





## 行政無線情報は電話でも

防災行政無線が聞き取りにくい場合は ☎(48)7030 へ問い合わせてください。最新のメッセージを聞くことができます。

# 携帯電話「災害用伝言板」

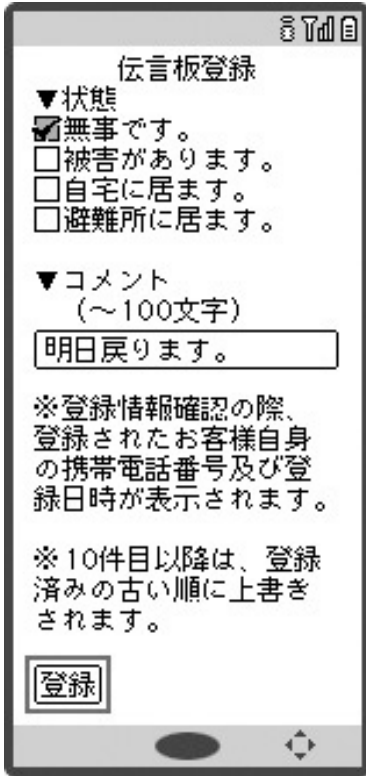
## 毎月1日サービス体験可能 家族で試してみてください

# 防災への意識改革

115

安全  
で  
住  
み  
よ  
い  
ま  
ち  
づ  
く  
り  
ニ  
ュ  
ー  
ス

防災交通課  
☎(48)1111  
(内208)



災害時に、電話では通話規制がかり、安否確認が困難になります。その中で携帯電話は有効な手段だと言われています。しかし、この携帯メールも同時に利用する人が多いとメールが届きにくくなります。

災害伝言サービスは、阪神淡路大震災を機にNTTが平成十年三月に音声による伝言ダイヤル「171」を開始しました。その後、NTTドコモが平成十六年一月から通信網に負担の少ないネット経由で文書を書き込む災害用伝言板を導入し、現在災害時には、携帯電話各社がサイトメニューの画面に「災害用伝言板サービス」を開設します。

昨年六月に発生した岩手宮城内陸地震では、この携帯電話各社の災害伝言板サービスの件数(約四万六千件)が、固定電話からの音声による災害用伝言ダイヤル171の件数(約二万五千件)の約二倍に達しました。

伝言を登録する場合は、携帯電話から「災害用伝言板」にアクセスします。「無事です」「被害があります」「避難所にいます」などの定型文のほかに百文字以内のコメントも書き込

めます。伝言を確認する場合は、伝言を登録した相手の携帯電話番号を入力すると、伝言が確認できます。蓄積される伝言数は十本です。

この伝言板サービスは携帯電話各社が個別に提供しています。相手の携帯電話会社からわからない場合は、複数社のサイトにアクセスする必要があります。

各社とも毎月一日には、サービス体験ができます。いざというときのために、ぜひ家族で試してください。



## 子どもたちが交通安全を呼び掛ける

夏の交通安全県民運動期間中の7月11日、交通安全協会半田支部阿久比分会のメンバーはじめ約80人が、夏の交通安全キャンペーンをアピタ阿久比店で行いました。

この日は、宮津団地交通少年団や英保育園の子どもたちも参加して、「飲酒運転はやめましょう」「車に乗るときはシートベルトをしましょう」などと買い物客に声を掛けながら交通安全啓発用品を配り、交通安全を呼び掛けました。



# めざせ!ハッピーライフ あぐい21

## 健康日本21あぐい計画

問い合わせ先 環境衛生課保健係

☎(48)1111 (内 311・312)

### 食生活改善推進員養成講座日程表

日 時	内 容
9月17日(木) 午前10時~正午	開講式 オリエンテーション 基調講演「国民の健康状況と生活習慣病予防」 あぐい南クリニック医師 新海佳苗さん
9月24日(木) 午前10時~正午	講義「食育を学ぼう!」 管理栄養士 岡本和代さん
10月15日(木) 午前10時~午後1時	実習「生活習慣病予防の食事」 管理栄養士 岡本和代さん
10月29日(木) 午前10時~正午	講義「食品衛生と食環境保全」 半田保健所 食品安全課職員
11月19日(木) 午前10時~午後1時	実習「単身者向けの簡単料理」 管理栄養士 岡本和代さん
12月3日(木) 午前10時~正午	講義「身体活動と運動」 サン・フェローズ 伊藤敦子さん 管理栄養士 岡本和代さん
12月17日(木) 午前10時~午後1時	実習「子育て世代のバランスの取れた食事」 管理栄養士 岡本和代さん
1月21日(木) 午前10時~午後1時	実習「高齢者の低栄養を防ぐ食事」 管理栄養士 岡本和代さん
2月4日(木) 午前10時~正午	講義「食生活改善推進員と地区組織活動」 ~健康日本21をすすめよう!~ 管理栄養士 岡本和代さん

食生活改善推進員は、自分の家族をはじめ、町民の皆さんの健康づくりを食生活の面からサポートしていきます。

今回開催する養成講座では、食生活を通じた健康づくりについて学びていきます。

食生活改善推進員となって、阿久比町全体の健康づくりをサポートしてください。

講義回数 全九回

会場 保健センター  
定員 三十人  
推進員の認定 養成講座を二十時間以上受講した方  
受講料 三千円程度(テキスト代と調理実習四回分の材料費)  
申込締め切り日  
八月二十四日(月)  
申し込み・問い合わせ先  
環境衛生課 ☎(48)1111  
(内 311・312)

## 食生活改善推進員養成講座を開催

### 麻しん(はしか)・風しん 予防接種はお済みですか

麻しんと風しんにかからないようにするためには、予防接種が有効です。対象者は左記のとおりです。対象者の方には四月に案内を送付しましたが、まだ接種が済んでいない方は、早めの接種をお勧めします。予約票を紛失された方は、保健センターで再交付します。

対象者

- ・二期 保育園・幼稚園 年長児(平成十五年四月二日~平成十六年四月一日生まれ)
- ・三期 中学一年生に相当する年齢の方(平成八年四月二日~平成九年四月一日生まれ)
- ・四期 高校三年生に相当する年齢の方(平成三年四月二日~平成四年四月一日生まれ)

接種期限 平成二十二年三月三十一日(水)

回数 一人一回  
料金 無料(接種期限を過ぎた場合は自費負担となります。)

接種場所 阿久比町指定の個別予防接種実施医療機関(要予約)  
持ち物 予約票(クリーム色)、健康保険証、診察券、二期対象者は母子健康手帳

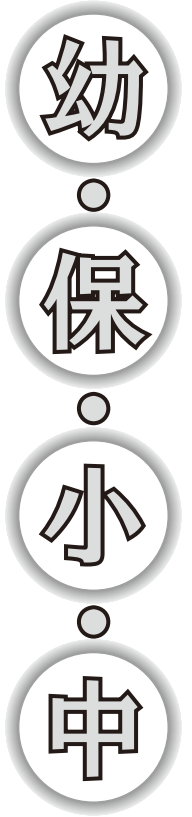
問い合わせ先 環境衛生課  
☎(48)1111 (内 311・312)



# 助産師を招いての 『命の授業』

== 全国へ発信 46 ==

一貫教育プロジェクト



6月26日、草木小学校で助産師の加藤朋子さんと中野紀子さんの2人を招き、4年生を対象に「命の授業」が行われました。自分が生まれたときの様子や家族の思い、命の大切さについて学びました。



「命の授業」は、一貫教育プロジェクトの総合的な学習研究部会から提言された「二分の一人式」(来年二月十六日開催予定)に向けての学習の一環で行われました。

四年生は十歳になる年。成人(二十歳)を迎える半分に達したところで、これまでの自分を振り返り、お世話になった皆さんに感謝の気持ちを持つたり、将来の自分の生き方について考えたりする機会にしようというものです。  
子どもたちは、助産師から母親のおなかの中で赤ちゃんが成長していく様子や命がけの出産について学びました。また、この日は保護者も授業を参観し、家族の愛情をもらって



大きくなったことを忘れないでください。私たちはいつでもあなたたちの味方です」と、保護者代表が「わが子」へメッセージを贈りました。  
「お母さんも赤ちゃんもすごく頑張っていることが分かりました」。  
「お母さんが僕を産むことは大変なことだと分かったので、命を大切にしようと思いました」などと児童は感想を話し、「二分の一人式」に向けて、考えを新たにしました。



## 阿久比スポーツ村トレーニング室特集 **その3**

# 講習会では、インストラクターがトレーニング方法をサポート

トレーニング室特集の最終回では、講習会について紹介します。

トレーニング室を利用するためには、事前に必ずインストラクターの講習会を受けてください。トレーニング器具の使い方やトレーニング方法をインストラクターがサポートします。

### 講習会の受け方

1. 電話予約をしてください。☎(49)2500
2. 講習会当日は、15分前にクラブハウス受付にきてください。  
(講習代金200円の支払いと利用登録申込者の記入)
3. 講習会スタート(約2時間)



インストラクターが器具の使い方をていねいに指導



インストラクターが使い方の見本を見せてくれます

### 4. 講習会終了後、「登録証」の発行

次回からは登録証を持参してクラブハウスで受け付けをしてください。

#### 講習会の日程

毎月 第2・第4日曜日午前10時～正午、第1土曜日  
午前10時～正午、第3水曜日午後7時～午後9時

運動のできる服装できてください。

必要なもの 屋内用シューズ、タオル、水分補給用の飲み物、講習代金200円

使用時間 月曜・水曜・金曜日 午前9時～午後9時

火曜・木曜・土曜・日曜日 午前9時～午後5時

使用料 トレーニング室(中学生以上)

1回200円 回数券2,000円(11回分)

温水シャワー1回100円

問い合わせ先 阿久比スポーツ村 ☎(49)2500

### 老人クラブ愛称

# 「阿久比いきいきクラブ」に

阿久比町老人クラブの愛称が『阿久比いきいきクラブ』に決まりました。

愛称には「老人クラブのイメージアップや活力ある老人クラブを目指したい」との思いが込められています。

大村浩嗣町老人クラブ連絡協議会長は「皆さんに愛称を覚えてもらい、いつまでも元気で地域に貢献できる活動を続けていきたい」と話していました。



「元気の出る体操」で健康づくりに励むクラブの皆さん





# 気楽に韓国語入門

# 犬のしつけとマナー教室



日にち 5月22日～6月26日 全6回

場所 中央公民館本館

「気楽に韓国語入門」を開きました。ハングル文字の構成・成り立ちや基本フレーズなどの基礎を学びました。

受講生は講師の中川春子さんの話をメモしながら、熱心に勉強していました。「正しい発音を覚えて韓国へ行きたい」、「旅行に行ったときには学んだことを役立てたい」。気持ちは韓国に飛んでいました。



日にち 6月19日

場所 中央公民館本館

動物保護管理センター知多支所の指導員を講師に迎え、「犬のしつけとマナー教室」を開きました。

犬の飼い方や、毎年多くの犬が捨てられている話などを聞いた後は、アシスタント犬によるしつけの実演が行われました。アシスタント犬の「パン」はこの日がデビュー。緊張しながらも参加者と一緒に頑張っていました。

集落は、芳池川を挟んで北に「北ノ郷」、南に「南ノ郷」と大きく分かれ、それぞれのやや小高い場所に形成されていきました。現在の姓からみると、北ノ郷にあたる集落には大野庄から住むようになったと思われる都築姓、平井姓が多く、南ノ郷には、緒川水野氏にかかわりのある竹内姓が多く見られます。

現在では、住宅がそれぞれの周辺の谷や平地に広がり、二つの集落の区別はつきりしなくなっています。英比谷各村の藩への年貢米の輸送は、草木村を経由して大野村（常滑市）に出て、そこから船で名古屋まで運んでいました。

（参考『あぐいのあゆみ』、『阿久比町誌資料編一』）

草木村は現在の阿久比町北西部に位置し、英比川の支流草木川が、中心を流れる盆地状の村でした。英比谷十六力村の中では例外的に大野庄（現在の知多市南部 常滑市北部、阿久比の一部の地域）に属していません。

坂部村は現在の阿久比町のほぼ中央に位置する大字卯坂の北部です。村の東部に本田、西に丘陵地、中央部に集落や本田畑があり、川の東沿いにも坂部村跡があります。

## 英比谷十六力村のはなし その五 草木村・坂部村のはなし

# 子どもに伝えたい あぐいのむかし

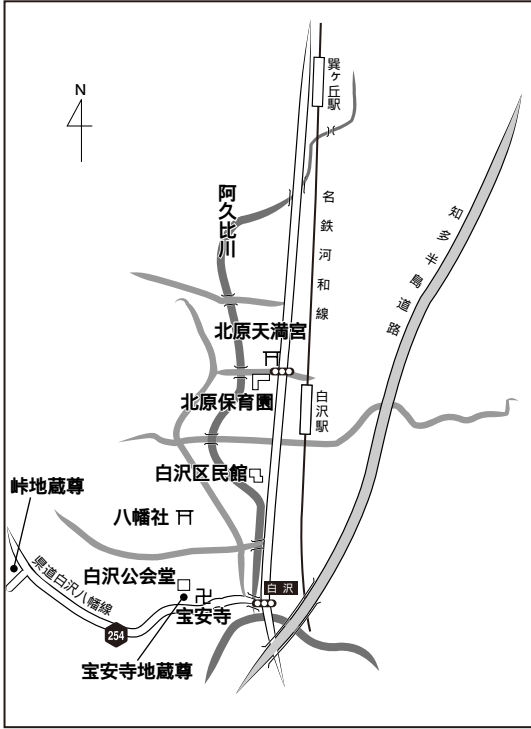
29

アグイがわたりマスヨウニ



# シリーズ

## 阿久比を歩く ⑩



通称「抱き地藏」と呼ばれる「峠地藏尊」

白沢地区宝安寺の「地藏尊」と峠の「地藏尊」を探しに出掛けた。子どもたちは夏休みに入ったが、「梅雨明け宣言」はまだない。今日もはつきりしない天気。どんよりとした曇り空で蒸し暑い。宝安寺を訪ねると、本堂を建て直した中で、境内は「トントントン」と勢いのある金つちの音が響く。西側にそろいの赤い前掛けをした十体の石造が並ぶ。その中に「地藏尊」が

### 石造物を巡る(板山・福住・白沢コース⑩)



交じる。文化財調査報告によれば、「地藏尊」には、右 半田 もろさき、左 ありわけ 亀さき と記され、道路改修の際に宝安寺境内に集められたもので、元の安置場所は不明。地藏の両脇には道を示す文字が読み取れる。道ばたに置かれた地藏尊を「辻地藏」と呼び、道しるべの役割を果たす。優しい顔の表情が印象的だ。道先案内役を終えた安堵感だらうか、静かに世の中を眺める。宝安寺を後にして、峠の「地藏尊」を目指す。別れ道の一角の小さな堂に「地藏尊」がまつられる。民家を訪ねて地藏尊にまつわる話を聞く。その昔、峠に休憩する茶屋があり、その場所に「辻地藏」として置かれていた。時代が流れ、道しるべとしての役割を果たさなくなると地藏はないがしるにされる。地元で不幸なことが続いたときに、刈谷市へ嫁いだおばあさんから、草むらで眠る「お地藏さん」を大事にしたらどつだろ」と助言を受ける。堂の中に安置

して、みんなが手を合わせるようになってから、不幸が不思議と起こらなくなつたという。現在は近くに住む七件の家が順番で地藏尊の世話をする。八月と二月の年に二回「地藏祭り」を開き、祭り当日には団子やお菓子を供えて、お年寄りや子どもたちが念仏を唱える。地元の人は、通称「抱き地藏」とも呼ぶ。願いごとをするときに地藏を抱き、「軽い」と思った場合には願いごとがかなうらしい。「子どもが病気をしたときは、お地藏さん」を抱かせます。不思議と治るんですよ」と女性が笑顔で話す。今まで不思議そうに話を聞いていた友人に「君もお地藏さん抱かせてもらえば」と私が言つと、「もし願いごとをして重かったら、怖いのでやめときます。科学では証明できないことが本当にあるんですね」と首をかしげる。梅雨明けはまだだろつつか雨が降り出してきた。



宝安寺西側に安置される「地藏尊」



# 衣浦西部都市計画区域 第5回線引き見直しについて

## 意見を募集

阿久比町では、平成二十二年第五回線引き見直しに向けて、阿久比町役場周辺地区の市街化区域の拡大を検討しています。そこで町民の皆さんの意見を募集します。

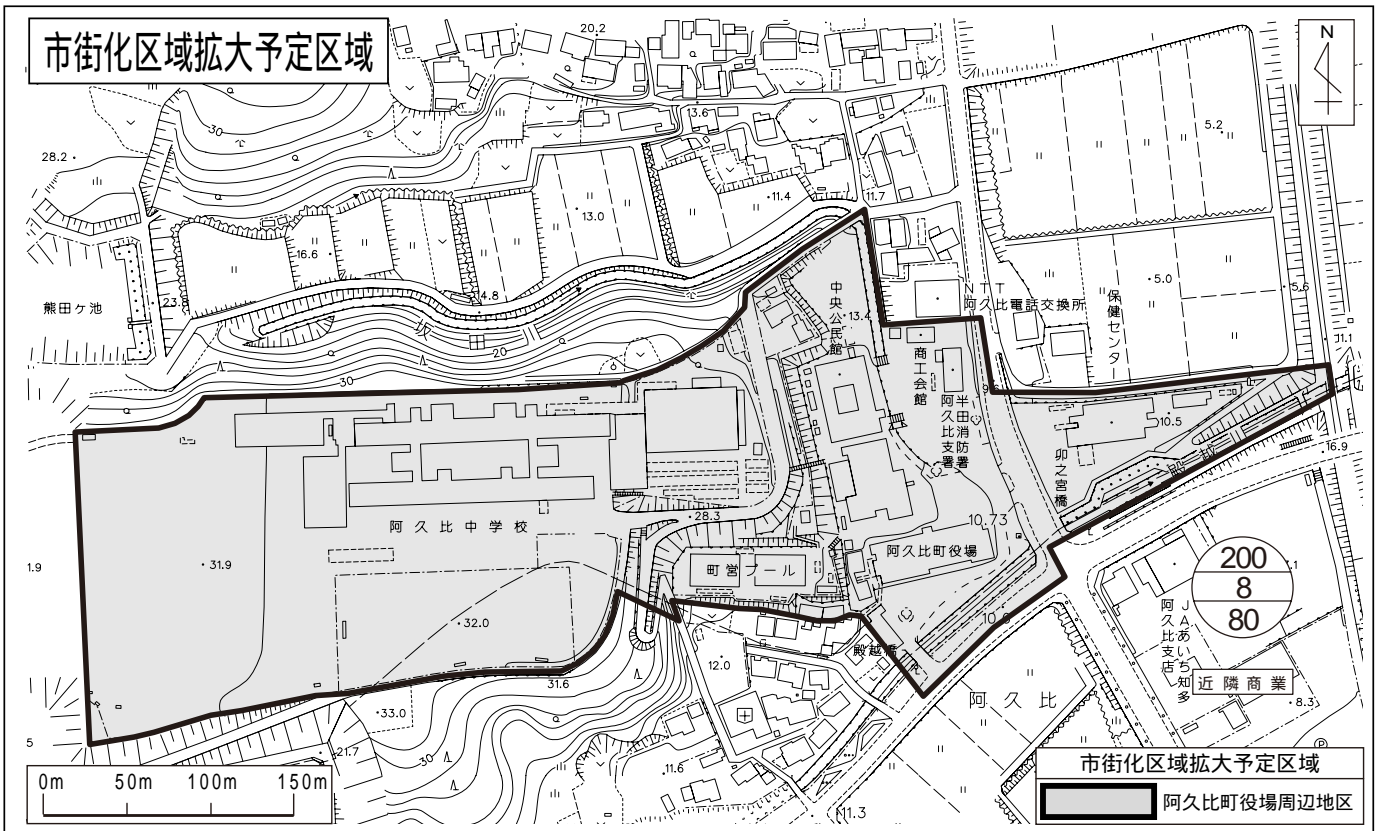
拡大検討区域  
阿久比町役場周辺地区

(下図のとおり)

意見募集期間 八月三日(月)～八月十四日(金)

(土曜・日曜日と閉庁時間を除く)  
区域図閲覧場所 建設部建設課

問い合わせ先 建設課 ☎(48)  
1111 (内288)



### シリーズ 庁内エコアクションプラン

阿久比町が地球温暖化防止に向けて作成した「庁内エコアクションプラン」の中から、具体的な取り組みを紹介します。

#### 【アクション】

日常の節電に努めます。

事務室の照明は、必要な時間のみ点灯します。

来客時・緊急時を除き、照明の点灯時間を厳守します。昼休み中も消灯に努めます。トイレも普段は消灯し、使用時のみ点灯します。

来庁者・施設利用者の皆さんには迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

使用しない電化製品は、コンセントからプラグを抜くなど、節電に努めます。

普段使用しない機器は、主電源を切り、待機電力を削減します。離席時は、パソコンの画面を閉じることなどで実践します。

既設のコンセントを節電タイプのコンセントへの切替えなども行っていきます。

役場では、毎月第三金曜日をノー残業デーとし、午後五時半以降の完全消灯を実践しています。

問い合わせ先 総務課庶務係 ☎(48)1111 (内207)

# お知らせ

## マイスタデイ講座受講生を募集

マイスタデイ講座は町民の皆さん自らが企画した講座です。  
講座名「発達上の支援が必要な子どもたちのために、できることを考えよう」

期間 九月十一日(金)～平成二十二年二月十二日(金)(全五回)

時間 午前十時～正午

内容 発達上の支援が必要な子どもについて、さまざまな視点から理解を深められるよう、毎回各方面の専門の方から学びます。

場所 中央公民館本館

対象 一般

定員 三十人

受講料など 無料

講師

知多地域障害者生活支援センター  
らいふセンター長 三宅和人さん  
ほか

申込期限 八月十七日(月)

申し込み・問い合わせ先 社会教育課公民館係

☎(48)11111 (内260)

## 上級救命講習を開催

半田消防署では上級救命講習を開催します。上級救命講習とは従来の救命講習に加え傷病者管理や副子固定、熱傷の手当て、搬送法を学ぶ講習です。

日時・場所 九月二十三日(水)  
午前九時～午後六時 半田消防署  
定員 三十人(先着順)

申し込み・問い合わせ先 知多中部広域事務組合消防本部半田消防署  
☎(21)1492 HP  
<http://www.cac.net.nip/chitachu/>

## 全国消費実態調査にご協力ください

九月から十一月までの三カ月間、全国消費実態調査が実施されます。

この調査は、日本の経済・社会が人口の高齢化、サービス産業の増大、高度情報化などにより多様化している中で、国民生活の実態を家計面から明らかにするために行うものです。調査の結果は、経済社会施策の基礎資料や消費経済分析の貴重なデータとして広く利用されます。

調査内容は、主に家計簿を記入していただくことです。調査員が伺いましたら、調査の趣旨を理解いただき、記入をお願いします。

問い合わせ先 企画財政課  
☎(48)11111 (内204)

## 創作イベント「からふるあ〜と」を開催

地域活動支援センターあんどでは、障害のある方が参加できる創作活動のイベントを、アトリエAndante(あんだんて)との共同企画で開催しています。

今回のテーマは「貝や石を使って

みよう」です。

日時 八月二十二日(土) 午前十時～正午

場所 地域活動支援センターあんど元浜事業所(東海市元浜町10)

対象者 身体障害、知的障害、精神障害のある方および障害のある児童

参加費 四百円

定員 十人(先着順)

応募期間 八月四日(火)～八月二十日(木)

申し込み・問い合わせ先 地域活動支援センターあんど元浜事業所  
☎0562(39)2778  
電子メール [shien@vanillaon.net](mailto:shien@vanillaon.net)

## うつ病家族教室を開催

うつ病は本人の力だけでは治りにくい病気で、回復するには周囲の協力がが必要です。

うつ病を理解し、対応方法を学ぶ機会として参加してください。

日時 九月三日(木) 午後一時

半～午後四時

場所 半田保健所四階大会議室

内容 講演「うつ病の理解と家族の対応について」

語り合い「家族にできること」

講師 南知多病院理事長 田中誠さん

対象 うつ病治療中の方の家族

## 自衛官を募集

自衛官を次のとおり募集します。

定員 四十人(先着順)  
申し込み・問い合わせ先 八月五日から受け付け 半田保健所健康支援課こころの健康推進グループ  
☎(21)3341

募集種目	受験資格	受付時間	試験期日
一般曹候補生	男子 女子 ・平成22年4月1日現在、18歳以上27歳未満の方	8月1日 ～ 9月11日	1次：9月19日 2次：10月8日～15日 日の内の指定日1日
航空学生	男子 女子 ・平成22年4月1日現在、18歳以上21歳未満で高卒者の方(見込みを含む)		1次：9月23日 2次：10月18日～22日 日の内の指定日1日
2等陸士 海・空	女子 男子 ・平成22年4月1日現在、18歳以上27歳未満の方		9月27日・28日
		年間を通じて	9月16日以降に実施

問い合わせ先 自衛隊半田地域事務所 ☎(21)0004

HP <http://www.mod.go.jp/pco/aichi/>



8月15日は

# 終戦記念日

戦没者を追悼し  
平和を祈念する日です

正午には家庭でも  
1分間の黙とうを

## 定額給付金

## 子育て応援特別手当

手続きを済まされていない方は、早めに手続きをしてください。

### 問い合わせ先

定額給付金

総務部総務課 ☎(48)1111(内237)

子育て応援特別手当

民生部住民福祉課 ☎(48)1111(内226)

終戦当時の引揚者の方へ  
通貨・証券などを返還します

名古屋税関では、終戦後に外地から引き揚げてきた方が、税関などに預けた通貨や証券などを返還していただきますが、今なお引き取り手がなく保管されたままになっているものが多数あります。

返還請求の申し出は、家族の方でもかまいません。心当たりの方は、問い合わせてください。

返還している通貨、証券など

- ・ 上陸地の税関または運輸局に預けた通貨、証券など

- ・ 帰国前に在外公館や日本人自治会などに預けた通貨、証券などのうち、その後日本に返還されたもの

世の中が変わればこれほど変わるのかインフルエンザ夏を掻き渡る  
人生は二度となきものよくよすることもなく何時も青空  
松葉杖の跡丸く残りし庭の土蟻には谷と成りたる深さ  
見直される日本の食事のすばらしさ瑞穂の国のお米が似合う  
朝毎に息子の作りくれし青汁ジュウス心情と共に百薬の価値  
静かなる日曜の午後雨上り薄ら陽させば急にざわめく

岡本 育与  
佐野 雄造  
木村 久世  
山崎 淳子  
大村寿美子  
奥田 貞子

### 阿久比町短歌の会

それぞれに花びら染めてあじさいのてまりのように雨にあそばれ  
夏野菜植えて一ヶ月元氣出た野菜も私もこれから楽しみ  
公園で孫と並んでブランコをどちらが大きく漕ぐか競争  
みどり児に満面の笑み向けられて日に幾たびか我が頬ゆるむ  
水張りし田の面に夕陽とめおきて田植機どっかと出番待ちおり  
輪島市の賑わふ朝市素見して媼の商ふ干物を買ひぬ

加藤かずみ  
新美 功子  
橋立 智子  
渡邊百合子  
山本ささ子  
竹内 清己

### 今月の納税など

町県民税	2期分
国民健康保険税	1期分
介護保険料	1期分
後期高齢者医療保険料	2期分
納期限は8月31日(月)です。	

の  
問い合わせ先  
財務省名古屋税関 監視部許可通  
関部門 ☎052(654)406

# 「あぐいふれあい盆踊りの夕べ」 みんなで踊ろうよ!



日 時 8月16日(日) 午後7時～午後9時

雨天時は17日に順延

会 場 阿久比町役場駐車場

内 容 盆踊り大会、無料模擬店(金魚すくい・ヨーヨー風船釣り)  
菓子(子どものみ)・うちわ・ジュースの配布など

問い合わせ先 社会教育課公民館係 ☎(48)111(内260)

阿久比町  
マスコットキャラクター



## 阿久比町民憲章

わたしたち阿久比町民は、ここに町民憲章を定め、よりよい町づくりに努めることを誓います。  
ホタル飛びかう、豊かな自然を守ります。  
歴史と伝統を守り、教養を高めます。  
スポーツに親しみ、健康で明るい家庭をつくります。  
オアシス運動をすすめ、笑顔あふれるまちをつくります。  
ボランティア活動に、すすんで参加します。



## 人口と世帯



世帯数	8,535 (6)	6月中の異動	
人口	25,098人(4)	出生	17 転入 65
男	12,429人(3)	死亡	18 転出 60
女	12,669人(1)		

( )は前月との増減数 平成21年7月1日現在



発行 / 阿久比町(〒470-2292 愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字殿越50 ☎0569-48-1111)編集 / 総務部企画財政課

阿久比町ホームページ <http://www.town.agui.lg.jp>

資源を大切に!この用紙は再生紙を使用しています。

広報あぐいを声の広報ボランティア「あいうえお」がCD録音しています。ぜひご利用ください。

問い合わせ先 阿久比町社会福祉協議会・ボランティアセンター ☎(48)1111